

令和5年度 第2回亀岡市新資料館(仮称)整備検討委員会 議事録

日時：令和5年12月26日（火）15時00分～17時00分

場所：亀岡市文化資料館3階 研修室

出席者：井尻智道委員、加藤美智恵委員、佐々木丞平委員、中西裕樹委員、原田禎夫委員、前田尚武委員、松岡久美子委員

事務局：教育部長 森岡浩之

歴史文化財課長 岡田康宏

歴史文化財課資料館企画係 係長 飛鳥井拓（学芸員）、主事 澤田一輝

同 文化財係 主事 立脇玄貴（学芸員）

オブザーバー：乃村工藝社

議題：1 開 会

2 あいさつ

3 会 議

① 基本構想第2章 修正内容について

② 基本構想第4章 新博物館の機能・活動について

③ 基本構想第5章 新博物館の保存・展示構想について

4 閉 会

4 会 議

※事務局の発言は（事務局）と示す。それ以外は出席委員の発言。

① 基本構想第2章 修正内容について

＊第1回整備検討委員会をふまえ、第2章の修正案を説明（事務局）

- ・役割3で、歴史を重視するため語順を入れ替えたい。「亀岡の文化・歴史・風土」→「歴史・文化・風土」
- ・承知した。（事務局）
- ・役割1「収集・保存」について、亀岡市の行政資料とはなにを指すか。
- ・亀岡町議会文書等を指す。現在の行政資料ではなく、合併前の歴史的価値のある資料である（事務局）。
- ・役割1「収集・保存」について、内容部分にも「収集」に関する事柄に言及するべき
- ・承知した（事務局）。
- ・役割2「調査・研究」について、記述内容「調査研究」→「調査・研究」に修正するべき。
- ・修正する（事務局）。
- ・研究成果の発表は役割のうちどれに該当するか。
- ・役割3「展示・教育普及」で想定している。文言を追記する（事務局）。
- ・方針2「地域の情報拠点」は「地域の文化観光の拠点」とした方が適当ではないか。
- ・承知した（事務局）。
- ・「保存」の役割を明確にするため、役割1「収集・保存」も2つに分けた方が適当ではないか。
- ・分ける方向で検討する（事務局）。

② 基本構想第3章 新博物館の機能について

- ・3章-1 歴史文化拠点の中には国分寺跡等の史跡も含まれるのではないかと再検討いただきたい。
- ・承知した（事務局）。
- ・「新資料館」と「新博物館」の名称が混在している。どちらが正か。
- ・事務局は「博物館」を目指しているが、事業名称等で現時点では新資料館という名称を使用している（事務局）。
- ・2章と3章-3が重複している。役割と機能が混在しているため、整理が必要である。
- ・再考したものを提示する（事務局）。
- ・「デジタル」は特記するよりも機能の中に含まれる。位置づけを再検討するべき。
- ・承知した。機能の中に位置づける（事務局）。
- ・「資料」という言葉の定義がなされていない。歴史資料、民族資料等、資料が指す対象を明確に示すべき。
- ・承知した。構想書内で定義する（事務局）。
- ・新資料館が想定しているターゲットを明記するべき。
- ・承知した。記載する（事務局）。
- ・資料の調査・研究に研究を支援する体制についても明記するべき。
- ・自然分野については、歴史文化における自然にとどめることを想定している（事務局）。
- ・上記について、修正箇所を反映した資料を第3回委員会の前に各委員に提示し、了解を得るように。
- ・承知した（事務局）。

③基本構想第4章 新博物館の保存・展示構想について

- ・4章-1 はじめに資料の収集方針を示すべき。
- ・収集・保存の重要性を説き、十分な収蔵庫面積が必要なことを言及するべき。
- ・指摘の通り、収集方針を設定する（事務局）。
- ・資料の保存が難しくなった寺社や市民に代わり、収蔵機能を担う。
- ・資料は時代別ではなく、分野別に大別した方がよいのではないか。
- ・収集資料は、現在のように細かく明示しない方がよいのではないか。
- ・上記2つの指摘を受け止め、再検討する（事務局）。
- ・収蔵庫不足の解消として、現資料館を別館・収蔵庫として活用することも考えられる。
- ・現在、民具・考古資料は市内にある既存の収蔵庫に保管することを想定している（事務局）。
- ・基本展示・テーマ展示とコレクションポリシーは紐づくべきと考える。
- ・新資料館以外に収蔵庫を設けることは考えているか。
- ・収蔵機能は市内複数の収蔵庫で分散させる想定である。新資料館の収蔵庫では美術工芸品を中心に収蔵する（事務局）。
- ・基本展示室とテーマ展示室は分かれているのか。
- ・分かれている想定である（事務局）。
- ・基本展示は展示替えを行わないという理解でよいか。
- ・基本展示は展示替えを想定した柔軟性のある展示を考えている（事務局）。
- ・展示は、ターゲットを想定して検討するべき。学校教育を重んじる場合は、展示替えが少ない方が効果的と思われる。
- ・承知した。ターゲットを設定する（事務局）。
- ・来館者を集めるためには近隣施設との連携が必要。他館の事例を参考にするべき。
- ・第4章-2 展示の手法と展示の位置づけが混在している。
- ・再度検討する（事務局）。
- ・巡回展にはおよそ1300平米の面積が必要になる。この場合、基本展示室も展示会場となることが考えられる。よって、展示替えが可能なフレキシブルな展示のほうが良い。
- ・連携する博物館を想定すると、巡回展の規模感が想定でき、基本展示の平米数が見えてくる。
- ・他館連携のシミュレーションをするのがよいのではないか。
- ・承知した。連携例を想定する（事務局）。
- ・「保存」に力点を置くのであれば、収蔵展示も視野に入れていただきたい。
- ・承知した。再度検討する（事務局）。

上記を修正し、第3回整備検討委員会の前に各委員に発信する。